



## いそしむ

今年度の始業式で「いそしむ」ということばを生徒に贈りました。このことばは、私が高校1年生の時の講演会で、言語学者の金田一晴彦先生が、いちばん美しい日本語として紹介してくれたものです。

先生によると、「いそしむ」には楽しみながら熱心に取り組むという意味があるとのことでした。この講演以来(40年以上にもなりますが)、困難な状況に置かれたときにしばしば、「いそしんでいるか?」と自分自身に問いかけてきました。

このような自分自身への問いかけを繰り返しているうちに、自分が厳しい環境に置かれたとき、その状況を俯瞰的にみることができるようになったように思います。

人は、困難な渦中では時に進む方向を見失い、身動きがとれなくなったり、息苦しくなったりもします。私自身そのようなときに、自らに問いかけるきっかけとなった「いそしむ」ということばに何度も救われてきました。

困難な状況を、一歩引いたところから時間的にも少し間を置いて見たり考えたりすることによって、暗かった見通しに光が見えることがあります。狭いところばかり視線が向かっていると、目に入るのは暗い部分ばかりで、その周りの明るさに気づかないかもしれません。

皆さんにも、思い悩んでいたことが、しばらくたって振り返ると何が問題だったかがはっきりと見えたり、考えていたことと違う解決方法に気づいたりしたという経験があるのではないのでしょうか。

西高生には、時々自分に問いかけながら勉強や部活動などに「いそしむ(勤しむ)」、そんな高校生活を送って欲しいと思います。

校長 高見澤 圭一

以上にもなりますが)、困難な状況に置かれたときにしばしば、「いそしんでいるか?」と自分自身に問いかけてきました。

このような自分自身への問いかけを繰り返しているうちに、自分が厳しい環境に置かれたとき、その状況を俯瞰的にみることができるようになったように思います。


**IBの使命**  
IB mission statement

国際バカロレア(IB)は、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成を目的としています。

この目的のため、IBは、学校や政府、国際機関と協力しながら、チャレンジに満ちた国際教育プログラムと厳格な評価の仕組みの開発に取り組んでいます。

IBのプログラムは、世界各地で学ぶ児童生徒に、人ごもつ違いを違いとして理解し、自分と異なる考えの人々にもそれぞれの正しさがあり得ると認めることのできる人として、積極的に、そして共感する心をもって生涯にわたって学び続けるよう働きかけています。

**新たに8名のIBフルディプロマ生が  
加わり、学びを深めています。**



IBの授業は、先生の話聞いてノートに写すだけの授業ではありません。例えば、ディベートをしたり、あるテーマについて話し合いをしたりしています。IBの授業では、生徒の意見の交換が重要なものになってきます。そのため、自分の意見を言う力を鍛えることができます。この自分の意見を言うということは、これから社会に出ていくときにも重要になっていきます。IBは、これから先に必要なスキル身に付けることができる、そんなプログラムです。

井原 未恵(櫛形中出身)

**音楽部定期演奏会第50回記念ステージを  
OB・OGを招いて開催しました**



**吹奏楽部がトルコ・シリア地震  
チャリティーコンサートを開催しました**




\*stage /steɪdʒ/  
 [「立っている場所」が原義] — 図(国) ~s/-iz/) 国  
 1 舞台、ステージ(◆世界の象徴)  
 2 [活動の]舞台、場所 [for, of]  
 3 (発達・発展などの)段階、時期  
 用例) 1 N-stage 西高生の時代(時期)  
 2 N-stage 西高生の活動舞台



vol.73

2023.6 甲府西高情報誌

西高のステージへ!

山梨県立甲府西高等学校  
Kofu Nishi High School

**nstage**

